

「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学

受付番号	2026-2-037
倫理審査（初回審査）	2026年7月27日
研究課題名	悪性肝門部胆管狭窄に対する above the papilla での細径 Multi-hole SEMS 留置に関する検討
研究の対象	2025年1月から2026年2月までに当院で施行した悪性肝門部胆管狭窄に対する胆道ドレナージのうち細径Multi-hole SEMSを用いてabove the papillaでのステント留置を行った12例（17回）を後方視的に検討した。
研究の概要 （試料・情報の利用目的及び利用方法）	悪性肝門部胆管狭窄に対する胆道ドレナージの第一選択は内視鏡的経乳頭のアプローチであり、ドレナージに用いる stent には metallic stent (MS) と plastic stent (PS) が選択される。MS の方が PS よりも開存期間などの観点から優位性が証明されている。十二指腸乳頭出し（across the papilla）より胆管内ステント留置（above the papilla）は stent を介した十二指腸内容物の胆管内への逆流を減らし、stent 開存期間の延長や胆管炎発症予防に寄与することが報告されている。 本研究では当院で悪性肝門部胆管狭窄に対して MHSEMS を用いて above the papilla によるステント留置で胆道ドレナージを施行した症例を、後方視的に検討し、ステント開存期間や偶発症の発生率を検証することを目的とする。
研究期間及び 試料・情報の 利用開始予定日	2026年7月30日 ～ 2028年12月31日
調査データ該当期間	2025年1月1日 ～ 2026年2月28日
研究に用いる試料・ 情報の種類	情報：年齢・性別、原因疾患、治療内容、画像検査結果、血液検査結果（WBC、RBC、Hb、Ht、PLT、ALP、LDH、 γ -GTP、AST、ALT、AMY、Lip、BUN、Cr、T-Bil、CRP、CEA、CA19-9）、偶発性発症率とその内訳、臨床経過
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象

	としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。 【照会先 及び研究への利用を拒否する場合の 連絡先】 〒983-8512 仙台市宮城野区福室 1-12-1 TEL：022-259-1221 研究責任者：東北医科薬科大学病院 消化器内科 宮下 優輝
--	--

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜個人情報保護法第21条＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy_policy.html

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜個人情報保護法第33条＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合